

スマイルジャパンの選手2名とやまびこバスターズの選手たちが
長野県岡谷市で開催された「森林づくりの集い」に参加しました



平成 18 年の 7 月豪雨災害で崩壊した岡谷市湊地区の本沢川の上流部で、カエデやヤマボウシなどを植樹した後、参加者全員で記念写真。後列右から3人目が鈴木世奈選手、その左が床亜矢可選手。

近年、地球温暖化の進展により異常な気象現象が世界各地で発生し、国内でも「ゲリラ豪雨」と呼ばれる集中豪雨により、各地で大きな災害が発生しています。

一方、人工リンクでの競技が普通となったアイスホッケーは、リンクの冷却に多くの電力を消費し、地球温暖化を助長しています。私たちは、このこと深く自覚するとともに、この地球ですとアイスホッケー競技を続けていくために、植樹など地球温暖化防止に役立つ環境保全活動に地道に取り組んでいく責務があります。

平成 28 年 5 月 28 日（土）、当連盟環境委員会の呼びかけにより、スマイルジャパンの選手2名と地元「やまびこバスターズ」のジュニアアイスホッケーチームの選手たちが、岡谷市湊地区での「森林づくりの集い」（第67回全国植樹祭記念行事）に参加し、カエデやヤマボウシなどの植樹を行いました。こうした活動を通じて、JOC の提唱する地球環境保全の理念を全国のアイスホッケー競技者に広げていきたいと考えています。

